

第4学年 道德学習指導案

指導者 畠中 貴子

- 1 日 時 平成23年10月26日(木) 公開授業Ⅱ
- 2 学年・学級 4年1組 41名
- 3 主題名 「わたしのふるさと」 内容項目 4-(5)
- 4 ねらい 「宮園音頭」が、地域の人々の願いや働きによって作られたり、継続したりしていることを知ったかしの心情を考えることを通して、宮園に文化を作り、守っている人々の思いに気づかせ、郷土を愛する心情を育てる。
- 5 資料名 「宮園音頭」 (自作資料)

6 主題設定の理由

○ 主題観

郷土愛について、小学校学習指導要領解説道德編には、「郷土のかかわりに関するものであり、郷土の伝統と文化を大切に、郷土を愛する心をもった児童を育てようとする内容項目である。自分の育った郷土は、自己の形成に大きな役割を果たすとともに、一生にわたって大きな精神的な支えとなるものである。郷土との積極的で主体的なかかわりを通して、郷土を愛する心を育て、郷土をよりよくしていこうとする態度を育成する必要がある。」とある。中学年の段階においては、「郷土の伝統と文化を大切に、郷土を愛する心をもつ。」ことをねらいとしている。郷土を愛する心情は、かけがえのない尊いものである。都市化が進み地域の色合いが均質化する中、郷土の意識も薄れつつある。郷土を愛する気持ちを育てるためには、郷土にある優れた文化、伝統や郷土で生活する人を知り、その価値を自分なりに感じ愛着を持ち、それらのものに誇りを持つようにしていくことが必要である。郷土の人々や文化にかかわりを持ち、みんなの力で郷土をよくしていこうとする意欲をもたせるようにしたいと考え、本主題を設定した。

○ 児童観

本学級の児童は、これまでに地域の人たちと「昔の遊び」をしたり、ビオトープでの自然体験活動や栽培活動を行ったりしてきている。今年は、総合的な学習の時間で「プルタブ集め」をしており、地域の人にも協力をしていただいている。運動会では、2年間、地域の人と作った銭太鼓を使った表現運動をしたり、宮園音頭をおどったりしている。

宮園は、歴史が浅い住宅地であるにも関わらず、宮園にすむ人に、「宮園がふるさと」だと思えるようにとさまざまな取組を考え実行してきている地域である。児童は、夏祭りや地域のいろいろな行事に参加しているが、それらの行事は、地域の人たちが計画、準備し、協力して行っているものであることに気づいていない児童も多い。1学期には、伝統行事や文化があることの素晴らしさに気づかせ、自分たちの郷土を見つめさせたいと思い、北広島町に伝わる「みぶの花田うえ」を資料に用い学習した。授業の中で、身近な地域にある優れた物や文化として、「夏祭り」「ビオトープ」「宮島」「廿日市天満宮」などが出された。自分たちの見つけた伝統行事や地域の良さに関しては、2学期に入り、総合的な学習の時間を使って、「広島再発見」というテーマで、調べ学習をしており、パンフレットを作成する予定になっている。

○ 指導観

本資料は、郷土の盆踊りの曲「宮園音頭」を素材に作った自作資料である。「宮園音頭」は、地域の人が熱い思いを持って「ふるさと作り」をしていることがよく分かる素材である。「宮園音頭」は、「宮園を子どもたちのふるさとにしたい」という地域の熱い思いから、2年もの月日をかけて平成7年に完成した。さらに、平成13年に、当時の宮園小学校4年生が総合的な学習の時間に、「宮園音頭」のルーツを探り、広めようとする学習をしたことをきっかけに、宮園地域の自治会が中心になって、さらに良いものに改良しようとする動きが生まれ「新宮園音頭」が制定された。今では、「宮園音頭」は地域を一つにまとめるものとして、夏祭りや敬老会、運動会などで踊られている。「宮園音頭」の歴史は、地域の文化を創り、郷土を大切に守り続けていることを伝えることができる素材である。

いつも踊っていて、新鮮みを感じなくなっていた「宮園音頭」の歴史を知り、「宮園音頭」が、地域の人々の願いや働きによって作られたり、継続したりしていることに気づき変容していく主人公の心情を考えさせることから、宮園にある素晴らしい文化や地域の人々に目を向けさせ、自分の住んでいる地域を見つめさせることができる資料である。「新宮園音頭」ができるきっかけとなった当時の4年生の田中君を、「宮園音頭」の歴史を語り、主人公に考えるきっかけを与える人物として登場させることで、宮園の地域は子どもを大切にしてくれる地域であることを感じさせたり、自分たちも何かできるのではないかと考えさせたりできると考えた。

中心発問では、田中さんの話を聞いて、宮園音頭の輪に入っていくたかしの気持ちを考えさせる。その際に、「どうしておどりたくなったのか」を明確にしていくことで「ぞんぶんに話し合う」ことにより、ねらいに迫っていきたい。

展開後段に、卒業生をゲストティーチャーとして招き、自分が体験したことや宮園に対する思いを話してもらう。自分たちと同じ4年生の時に、地域のためにできることを考え行動している卒業生の姿から、自分たちもできることから行動しようという意欲を持ってくれることを望んでいる。特に、体験の生かし方、取り入れ方としては、下記の通りとする。

導 入・・・夏祭りに行った体験を想起させ出し合うことで、児童と地域のつながりを意識させ、資料への導入を図る。

展開前段・・・自分たちが何気なく踊っていた宮園音頭にはいろいろな歴史があり、人々の思いが込められて出来上がっていったことを知ったたかしと自分を重ねて考えることができるように、資料提示の仕方を工夫したり、「同じような経験はないか。」など補助発問や切り返しをしたりする。中心発問の「宮園音頭」をおどりたくりたくなったたかしの心情の変化を考えさせるためには、「新宮園音頭」に作り変えようとした人々の思いを十分に感じ取らせることが必要である。地域のいろいろな人を思い浮かべながら、思いや努力を受け止めさせることができるようにしていきたい。

展開後段・・・郷土作りに取り組んで来られた人の思いを受け止めて、実践した卒業生の話聞き感想を交流することで、自分たちにもできないことがないか考えていこうとする意欲につなげていきたい。

終 末・・・宮園小オリジナル「心のノート」に児童が感じている宮園の好きなどを表現させる。

7 言語活動の充実に向けて（「みやぞの響きあいプラン」の具体的な活用）

① みんなが考えを持つ	中心発問において、「たかしは、どんな気持ちで宮園音頭の輪の中に入っていったのか」を考えさせる際に、ワークシートを用意し、書く時間を十分確保して、自分の考えを明確にさせる。
② やさしく聞き合う	クラストークで、たかしの気持ちの変容について聞き合い、自分の意見と比較して考えたり、出た意見をまとめたりして、ねらいとする価値に迫れるようにする。
③ そんぶんに話し合う	（指導過程に提示）
④ ノートやワークシートにまとめ深める	中心発問でワークシートを使い自分の考えをまとめさせたり、振り返りにおいて、宮園小オリジナル「心のノート」に宮園の好きなところを書かせたりすることにより、本時の授業に関する児童の思いを受け止める。

8 準備物

短冊・場面絵・写真・ワークシート・宮園小オリジナル「心のノート」・ニュース番組の録画映像

9 総合単元的な道徳学習構想図

総合主題名		実施期間	平成 23 年 6 月～10 月
めざす子ども像	わたしのふるさと 地域の良さを感じ、郷土を大切にしようとする子	中心項目 関連項目	4－（５）郷土愛 4－（２）勤労・奉仕
体験に視点をあてた活動 教科・特別活動・総合他		体験に視点をあてた道徳の時間	
①図工科 「わたしの好きな宮園」 宮園の好きなところや暮らしやすい社会を作るために大切なことをポスターに表す活動を通して、地域を見つめさせる。 4－（５）郷土愛		②主題名 「町のじまん」 内容項目 4－（５）郷土愛 資料名 「みぶの花田うえ」 ねらい 自分の町にある伝統文化に愛着をもつようになったひろ子の心情を考える活動を通して、伝統行事や文化があることの素晴らしさに気づかせ、郷土を大切にしようとする心情を育てる。	
③運動会 「宮園音頭」 運動会の表現運動で、「宮園音頭」を踊り、地域の人や保護者に喜んでもらえる演技をする。 4－（５）郷土愛		④主題名 「働く喜びを感じて」 内容項目 4－（２）勤労・奉仕 資料名 「フラワーロード」 ねらい フラワーロード作りをしている三宅さんの思いについて考えることを通して、仕事に誇りと喜びを持ち働くことのすばらしさに気づかせ、進んで社会に役立とうとする態度を育てる。	
⑤総合的な学習の時間 「広島再発見」 広島の有名な物や大切にしてきた伝統などを調べたり、パンフレットにまとめたりする活動を通して、広島県について知り、郷土を大切に思う気持ちを育てる。 4－（５）郷土愛		⑦主題名 「わたしのふるさと」（本時） 内容項目 4－（５）郷土愛 資料名 「宮園音頭」 ねらい 「宮園音頭」が、地域の人々の願いや働きによって作られたり、継続したりしていることを知ったたかしの心情を考えることを通して、宮園に文化を作り、守っている人々の思いに気づかせ、郷土を愛する心情を育てる。	
⑥特別活動 「きれいな学校」 花壇を整備している遠藤さんに学び、学校をきれいにするために自分たちにできることを考え、実践する。 4－（２）勤労・奉仕		① わたしの好きな宮園はどんなところだろう。くらしやすい宮園はどうしたらできるだろう。 ② 地域にはいろいろな文化や伝統行事があるんだ。宮園はどうなんだろう。 ③ 宮園音頭を精一杯踊って地域やお家の人に見てもらおう。 ④ みんなが喜ぶことがうれしくて働いている人がいるんだ。すごいな。自分たちも、地域や学校のために何かできないかな。 ⑤ 広島県には、たくさんの有名なものや伝統があるんだ。わかったことを、パンフレットにして知ってもらおう。 ⑥ 遠藤さんは、今までにいろいろなことをしてきているんだ。きれいな学校にするために自分たちにできることを考えてやってみよう。 ⑦ 自分たちの地域にも文化がある。それを作ってきた人がいたんだ。宮園は素晴らしい地域だな。	
		地域の良さを感じ、郷土を大切にしようとする子	

10 指導過程

段階	学習活動	おもな発問と児童の心の動き	指導上の留意点	体験を言葉で生かす指導 ☆体験を引き出す発問
導入	1 資料に関わる体験を引き出す。	○ 今年の夏祭りに行きましたか。夏祭りではどんなことをしましたか。 ・お店をまわった。 ・太鼓クラブで発表した。 ・ダンスの発表をした。 ・盆踊りをした。 ○ どんな人が来ていましたか。 ・地域の人。 ・子ども達。 ・コミュニティーや子ども会の人。	○ 夏祭りのチラシを提示し想起させる。	○ 自分の体験を想起し、地域とのつながりがあることを確認する。
展開前段	2 資料を読んで話し合う。	○ 宮園音頭が流れた時に、たかしはどんな様子でしたか。 ・またこのおどりかと思った。 ・同じおどりでつまらない。 ・おどるのがいやだからはなれていた。 ○ 宮園音頭が作りかえられていることを知ったたかしは、どんなことを思ったでしょう。 ・どうして作り変えたんだろう。 ・知らないことがたくさんあった。 ・作り変えるのは大変だっただろうな。 ・宮園音頭には歴史があるんだ。 ・宮園の人の思いがあって作られたものなんだ。 ・地域の人や田中さんたちは、宮園音頭を大切に思っているんだ。 ○ 新宮園音頭は、どんな思いが集まってできているものでしょう。 ・みんなでおどりたい。 ・みんながまとまることをやろう。 ・もっと宮園音頭を知ってほしい。 ・宮園の良いところをたくさん知ってほしい。 ・これからもおどり続けてほしい。 ・子どもたちが頑張ったのだから、おとなの自分たちもがんばろう。 ・宮園音頭もより良いものにしたい。 ・宮園をふるさとだと思ってもらいたい。	○ 場面絵や写真を提示して状況把握の支援をする。 ○ 宮園音頭の歴史は、板書で簡単に確認する。 ○ 宮園音頭の歴史を聞いて思ったことを表現させる。 ○ いろいろな人が宮園音頭制定に関わっていることを確認する。 ○ 「どうしてそう思ったの。」と切り返し発問をすることで、地域の人々の思いを十分に感じ取らせる。	○ 似たような経験がないか問いかける。 ☆ みんなはこんなことを思ったことはないか。 ○ 児童にとっても、初めて知ることが多いので、たかしと自分を重ね合わせて考えさせる。 ☆ みんなには、たかしの気持ちがわかると思うんだけど。 ○ 宮園音頭があったのにも関わらず、作り直した労力を想像してから考えさせる。 ☆ とても大変なことだね。それなのに、どうして作り直そうとしたのかな。

		◎ たかしは、どんな気持ちで宮園音頭の輪の中に入っていったのでしょうか。 ・宮園音頭がおどりがうれしかった。 ・みんなで踊るのがうれしい。 ・宮園音頭は、地域の人の思いがいっぱいつまっていた、すごいものだ。 ・子どもたちのこと思って、作り直した宮園音頭を、これからはおどっていくぞ。 ・宮園の地域を作っている人がいるのが分かった。 ・地域のいろいろな人に感しゃしたいな。感しゃの気持ちをこめておどろう。 ・宮園音頭をこれからは受け継いでいきたい。	○ 輪の中に入って踊るたかしの心情を問い、田中さんの話を聞き、たかしの心情がどう変化したか話し合わせる。 ○ ワークシートにたかしの気持ちを書かせる。 ○ 「たかしの気持ちはどう変わったのか。」と切り返し発問をして、考えを深める。	○ 初めはおどらなかったのに、踊りの輪の中に入ったのは、どんなことを思っていたからなんだろう。 ☆ どんな気持ちで、宮園音頭の輪に入ろうと思っているのかな。
		ぞぞんぶんに話し合う。 宮園音頭の歴史を知り、地域の人の思いに気づき、踊りの輪に入っていったたかしの気持ちを考えさせるために、ワークシートに書く時間を保証し、発表させる。 児童の意見を類型化して板書し、友達の意見と自分の考えを比べて考えさせ、たかしの変容について話し合う。 〈子どもの姿〉 郷土を大切に地域の人々の思いに気づき、宮園を大切にしていこうとする気持ちを持つことができる。		
展開後段	3 生活を振り返る。	○ ゲストティーチャーの話を聞いて、感想を交流しましょう。 ・今でも、4年生のころのことを覚えていることにおどろいた。 ・子どもたちの声を聞いて、受け止めてもらえたのがすごいと思う。 ・宮園のことが大好きなんだな。 ・ぼくたちも何かできるかもしれない。	○ ゲストティーチャーに体験や感想を話してもらうようにする。	○ 自分の体験と比べながら聞かせる。 ○ 感じたことを発表させ、感想を交流させる。
終末	4 まとめをする。	○ 宮園小オリジナル「心のノート」に宮園の好きなところを書く。 ○ 「新宮園音頭」制定のニュース番組の映像を見て、本時の学習のまとめをする。	○ 宮園の地域を見つめさせ、好きなところを表現させる。	○ 本時の授業と関連させて書けるように工夫する。

1 1 板書計画

夏祭りの
チラシ

宮園音頭

宮園音頭が流れた時の様子

場面絵①
たかし

みんなの心
を一つに

宮園を
ふるさと
に

おどりやすいも
のこしよう。

作り変えられたことを知ったたかしの気持ち

みんなに広め
たい。

調べ学習の
様子

みんなでおど
りたい

おとなもが
んばろう。

- ・ どうして作り変えたのか。
- ・ 知らなかった。
- ・ 大変だっただろうな。
- ・ れきしがあるんだな。
- ・ いろいろなおもいがあった。
- ・ 宮園音頭を大切に思っている。

場面絵②
たかしと田中さ
ん

良さを知っ
てほしい。

これからもお
どりをとおどっ
てほしい！

たかしは、どんな気持ちで輪の中に入っていったのでしょうか。

- ・ おどりがなくなった。
- ・ みんなでおどるのがうれしい。
- ・ 宮園音頭には地いき人の思いがいっぱいつまっているからすごい。
- ・ 宮園音頭をこれからもおどっていくぞ。
- ・ 宮園を作ってくれている人がいる。
- ・ 地いきの人に感じやしておどろう。
- ・ 宮園音頭を受けついでいきたい。